

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 12 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市雲梯町594番地

氏 名 三和澱粉工業株式会社

代表取締役 森本 剛司

電話番号 0744-22-5531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和澱粉工業株式会社
事業場の所在地	奈良県橿原市雲梯町594番地
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 342億円（令和6年度実績）
③ 従業員数	264名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>（汚泥） 再生処理業者に委託し、セメント原燃料として再資源化 再生処理業者に委託し、堆肥として再資源化 再生処理業者に委託し、路盤材として再資源化</p> <p>（廃プラスチック類） 再生処理業者に委託し、RPFとして再資源化</p> <p>（廃酸） 再生処理業者に委託し、メタン発酵し、残渣はセメント原料として再資源化</p>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

EMS 運用事務局
↓
環境対策室長（環境管理責任者補佐）
↓
工場長（環境管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	1. 汚 泥	2. 廃プラスチック類	3. 廃酸
	排 出 量	2,732 t	155 t	35 t
	（これまでに実施した取組）			
	有用物の回収、工程改善による廃棄物の削減 ※廃酸は普段発生しませんが、今回スポットで排出しています。			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	1. 汚 泥	2. 廃プラスチック類	
	排 出 量	2,700 t	150 t	
	（今後実施する予定の取組）			
	増産と工事の影響で産業廃棄物排出量は増加を見込むが、工程改善、分別の徹底等を行い、可能な限り増加率を下げる。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック類はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	1. 汚泥	2. 廃プラスチック類	3. 廃酸
	全処理委託量	2,732 t	155 t	35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,113 t	0 t	35 t
	再生利用業者への処理委託量	2,732 t	155 t	35 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)			
	産業廃棄物の最終処分量ゼロを維持。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1. 汚泥	2. 廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	2,700 t	150 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,100 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,700 t	150 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の最終処分量ゼロを維持する。		
※事務処理欄			